

好間高校読書活動推進への取組

1 学校の概要

① 所在地	福島県いわき市好間町上好間字上川原25
② 学級数	6クラス
③ 生徒数	178名
④ 蔵書数	16,320冊

2 取組の概要

(1) 生徒が本に親しみ、使いやすい学校図書館環境の一層の充実に向けた取組

「あたたかい図書館づくり」

- ①図書館の環境整備…堅苦しいイメージのある図書室を柔らかい空間へ。明るさとカラフルな色使いを心がけ、楽しいながらも落ち着く雰囲気づくりを行っている。
- ②特別展示コーナーの設置…特定のテーマごとに展示を行っており、生徒が本に興味を持つきっかけを作るのと同時に手に取りやすさを意識して設置している。
- ③季節感を大事にした飾りつけ…春夏秋冬の季節のイベントや学校行事を意識した飾りつけで図書室の雰囲気に新鮮さを取り入れている。
- ④新しい情報にあふれる場所…美術館博物館のイベント情報など、生徒の学習活動に役立つ情報を発信する場になっている。

(2) 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

「読書をより身近なものにする活動」

- ①個人の読書記録カードと読書数ランキング…個人の読書量を記録・公開することで読書意欲の向上化を図る。また記録カードは卒業時に贈り、学生生活での思い出にする。
- ②積極的な授業利用…教員との連携で図書室の授業利用を促進。自習時間に本を手にする生徒や本を借りる生徒が増えた。
- ③図書館だよりの発行…図書館だよりは図書委員が発行しており、新刊案内や本紹介などの原稿を生徒が自ら作成している。読書ランキングを発表しており、生徒やクラスごとの読書量が分かるほか、教員による本の紹介もあり、読書をするきっかけとな

っている。

(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

「読書のその先へ」

- ①意見を発信する場に…読書会への参加が、生徒に好評であった。意見を発表する場を設けることで生徒は自分以外の人の感性に触れることができ、読書活動を通して新たな知見を得ることができた。
- ②読むだけではなく書くことも大切に…読書感想文の書き方がわからないという生徒がいるため、プリントを配布し、読書感想文の書き方を指導したところ、書けるようになった。また、図書委員は図書館だよりを通して情報発信を行っている。
- ③創作活動の手助けを…利用者の中にはライター志望の生徒や二次創作小説を書いている生徒がおり、書き物のノウハウ本やアイデア集を要望する声も多かった。図書室ではリクエストを募ることで生徒の自主的な活動を応援している。

(4) その他、読書活動推進へ向けた取組

「多種多様な本があふれる図書館」

- ①教員の寄贈によって支えられる図書館…好間高校は本の寄贈だけで 1,000 冊近い蔵書がある。寄贈本は生徒からも教員からも好評であり、幅広いジャンルに接する機会を与えてくれている。
- ②漫画や雑誌など生徒が手に取りやすい書籍の充実…図書館では漫画の寄贈や購入も多い。漫画は生徒同士の交流にも役に立ち、図書館の利用を促している。雑誌は生徒にとっての情報源であり、格差を少しでも解消するのに役立てたい。
- ③CD や DVD などの資料も豊富に…読むだけではなく、聞く・見るための資料も増やしている。読書習慣のない生徒がアクセスしやすい資料、また文面だけでは伝わりにくい内容をそろえている。
- ④ブロック会への参加…図書委員連合会第一ブロックで活動している 4 校のうちの 1 校が好間高校である。他校との生徒と交流することで図書委員の質の向上を図り、また読書の楽しさを再認識してもらっている。
- ⑤いわき総合図書館での POP の展示…国語の授業では生徒が POP づくりを行っており、図書室では材料の貸出などを行っている。今までは図書室に飾るだけだったが、今年度はいわき市の総合図書館に生徒が作った POP が飾られた。
- ⑥統合に向けて…好間高校では学校の統合に向けて資料を整理している。今まで書庫に眠っていた本も取り出し、生徒の目に触れる機会を作っている。